

くらしにかかせないひびを  
守る人たち

くらしにかかせない  
ひい川 ひいおはあぢんの  
お魚鬼い出ー  
横田のわオのひいおばあ

川が流れてゐる。ぼくは毎日、川をながめながらうつ今日の水は多くなかぬ。うつてきれるな。さくらがうつつてきれる。ようちというところを考へてゐる。ようちの時は、水辺の楽校という名を遊ぶ場であり、今ではそう合ふ。

社会科見学で三代清水場に行き、飲み水を作るためにくさきの時間を水開けにかけていることがわかった。また、下水処理場では、家庭から出た生活はし水が川に流せる水にするために大変な手間をかけている。午時開き、休まずばくちの狂いのために、くさきの水に感心して、水を大切にしている。

洗ったり、おぼを洗ったり  
していたら、今よりも  
ずっときれいな水で  
川にすぐ下り

の水と大  
 近魚鳥とこ道し  
 げてくのがてろ湖に  
 いでにすやもほに  
 ゆてはみつ広、つ  
 れた、広かてく川な  
 がひいにまねのが

穴道は胡  
つなぶ

[illegible][illegible]

昔、はんらんする  
ひい川、人々は  
例えオノオロチ  
生れにおそれな  
ひい川とワッパ  
生きのくため  
ろいろなちえ  
働かてきた。  
それは、ぜん  
も変わら、ず  
尾原ダムとひい  
故水路である  
どちらの大き  
じせつなで  
くれることだ  
水がいから  
くられること

へん集後記  
 ぼくは、三年生の学習習  
 会ではサノオ役になった。  
 の時は、ママトオチを要  
 としたてのびじし。しか  
 新会料での取材にして学  
 新聞でひ川ママトオチ  
 ちには川ママトオチ  
 だから、共に生きてい  
 とけなりのものだとい  
 物サノオのように、知れ  
 の生活を守り続けていた

しかし、上流よりもゴ  
 が見られることが残念だ











るものを「のり」のろうで「着」そ表

終わり～穴道湖

